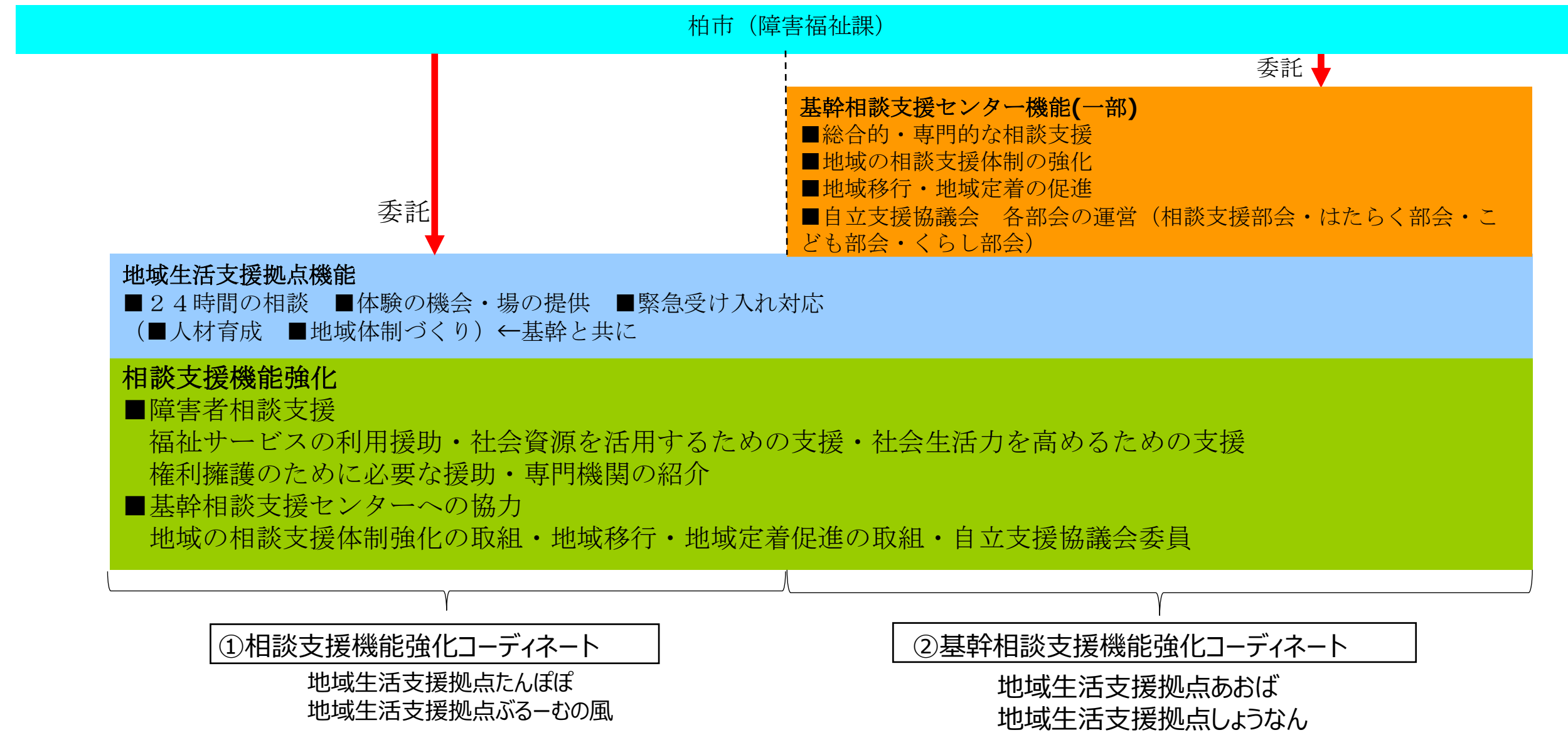


～令和 7 年度～ 柏市委託相談支援事業実績報告

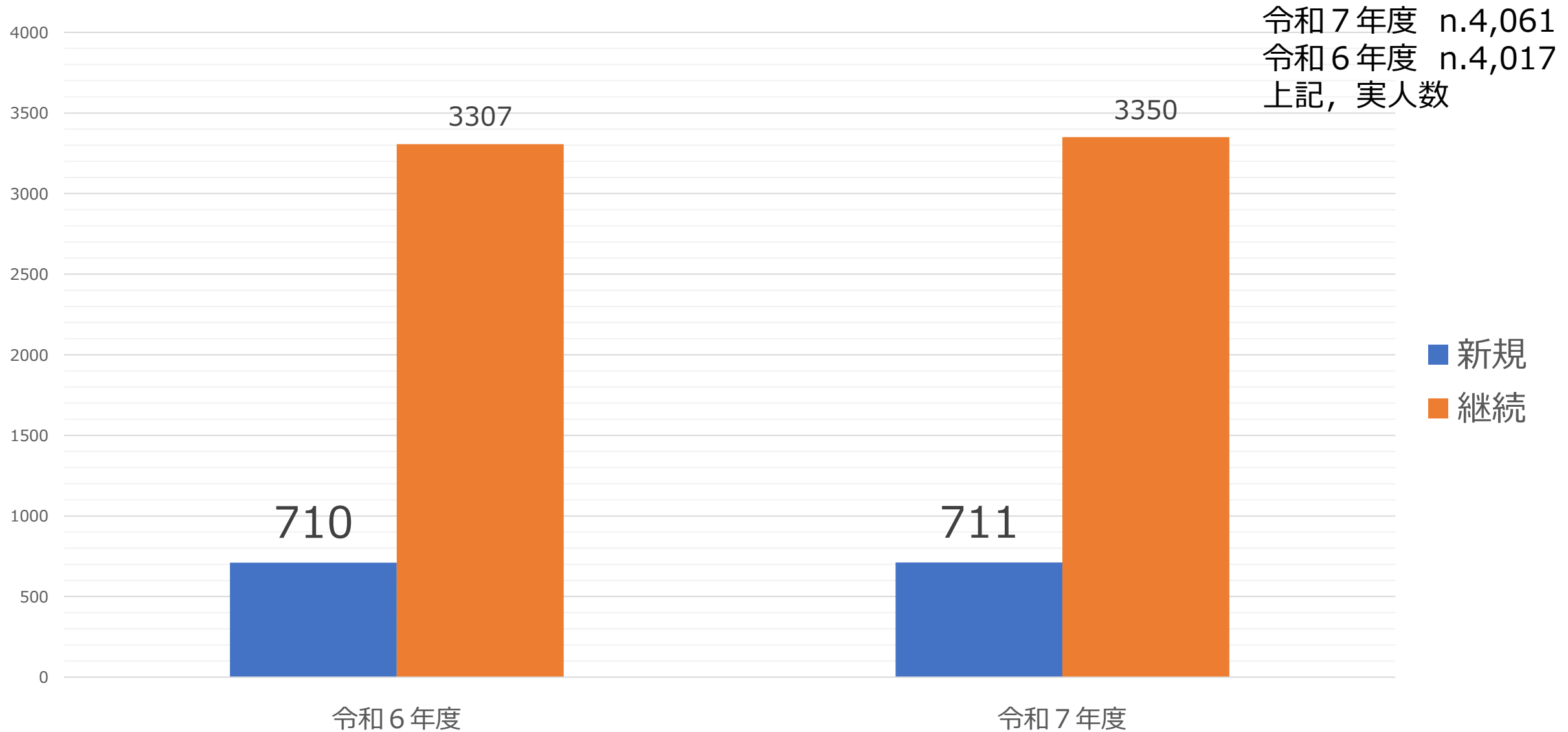
柏市障害福祉課

柏市における委託相談支援事業

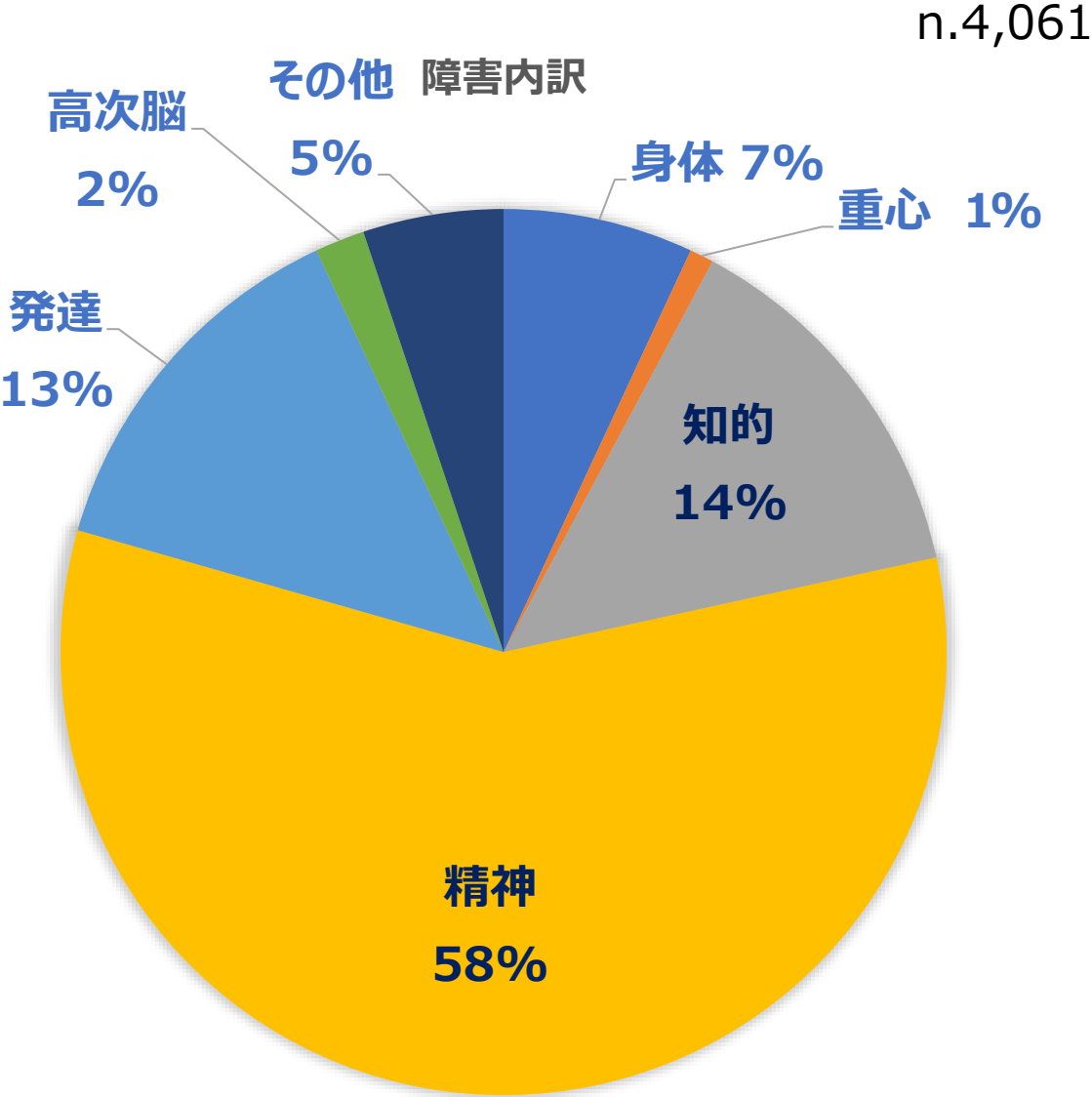
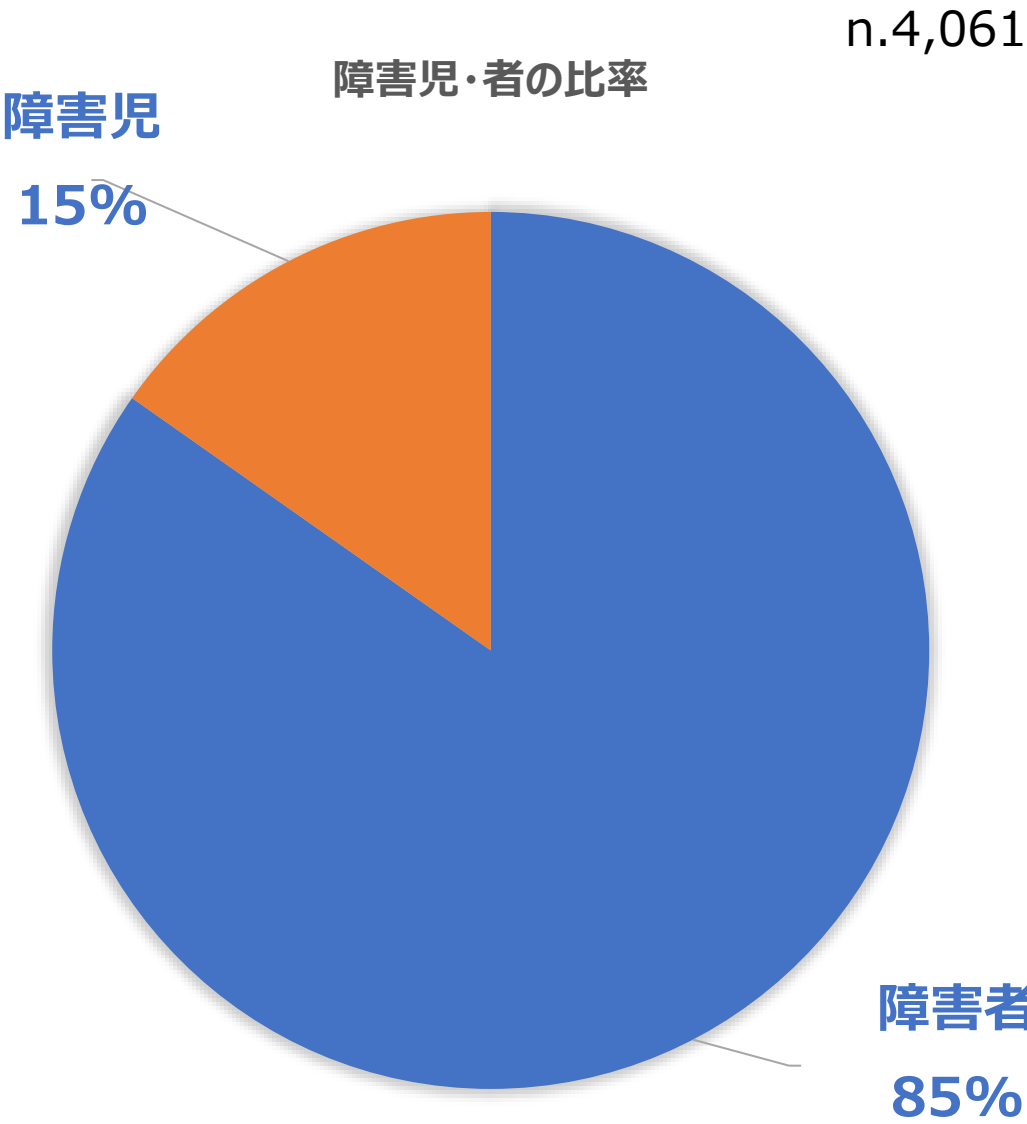
柏市における相談支援機能（令和7年度）



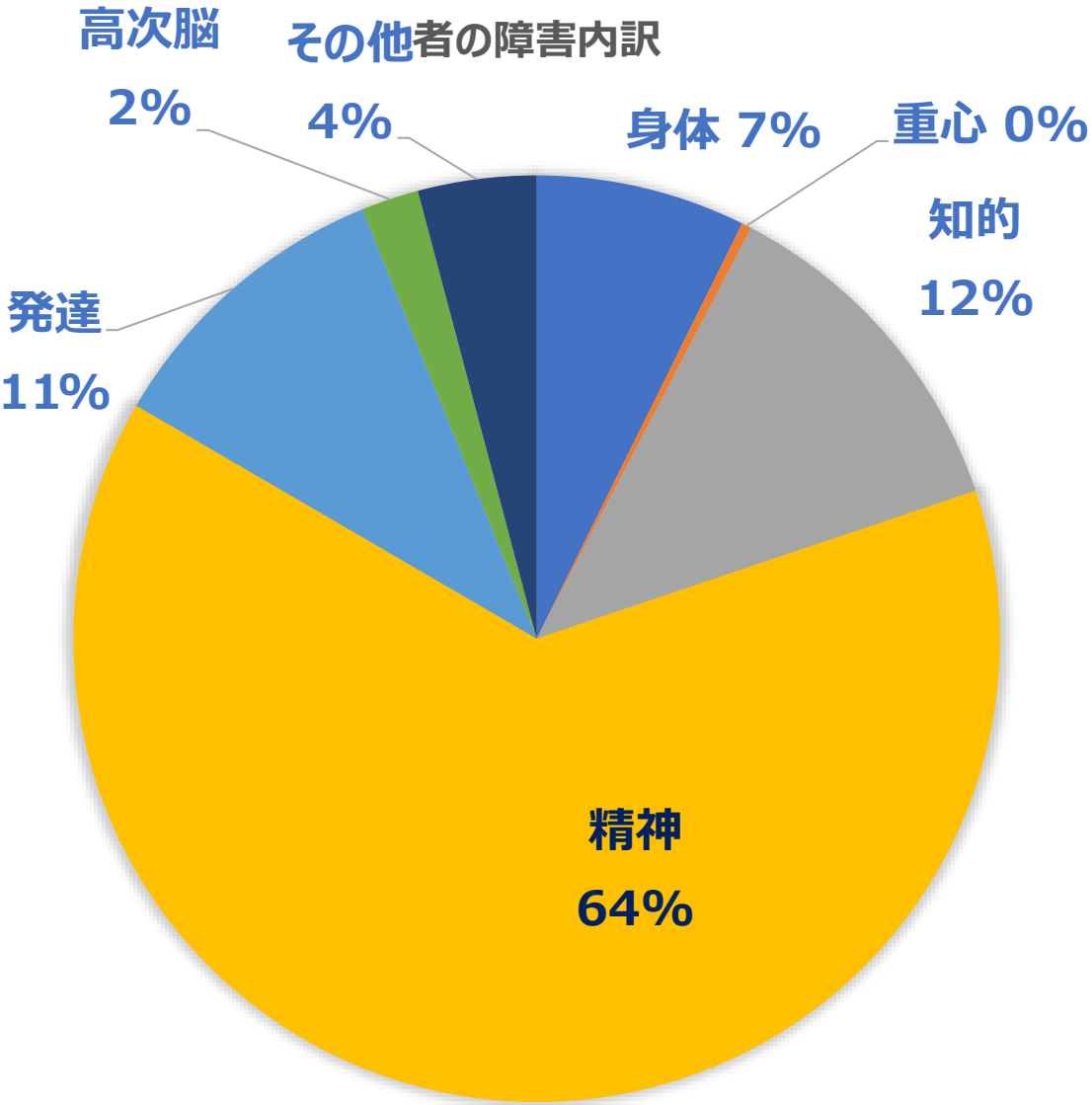
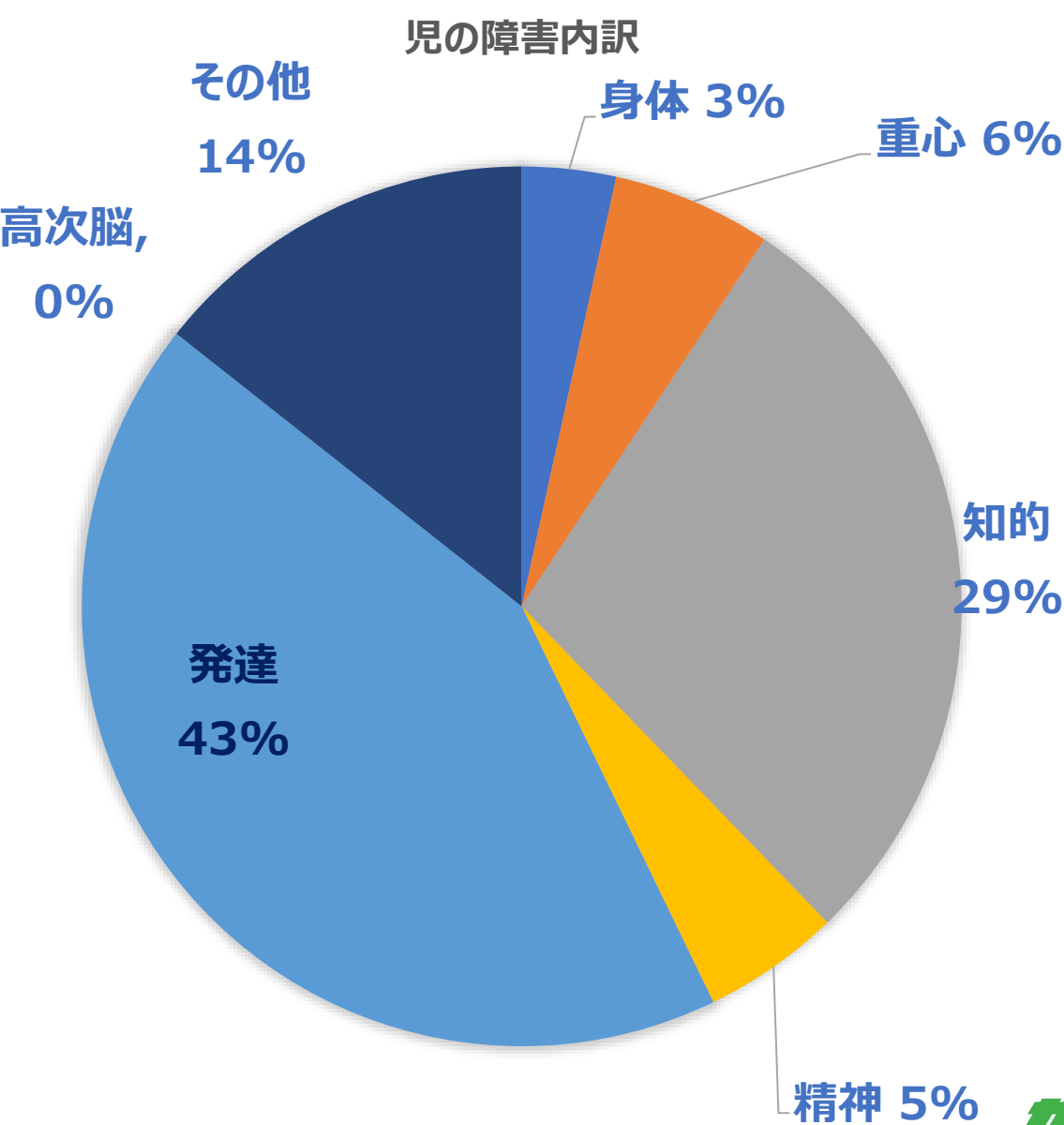
1.相談支援を利用した障害者等の新規及び継続の比較



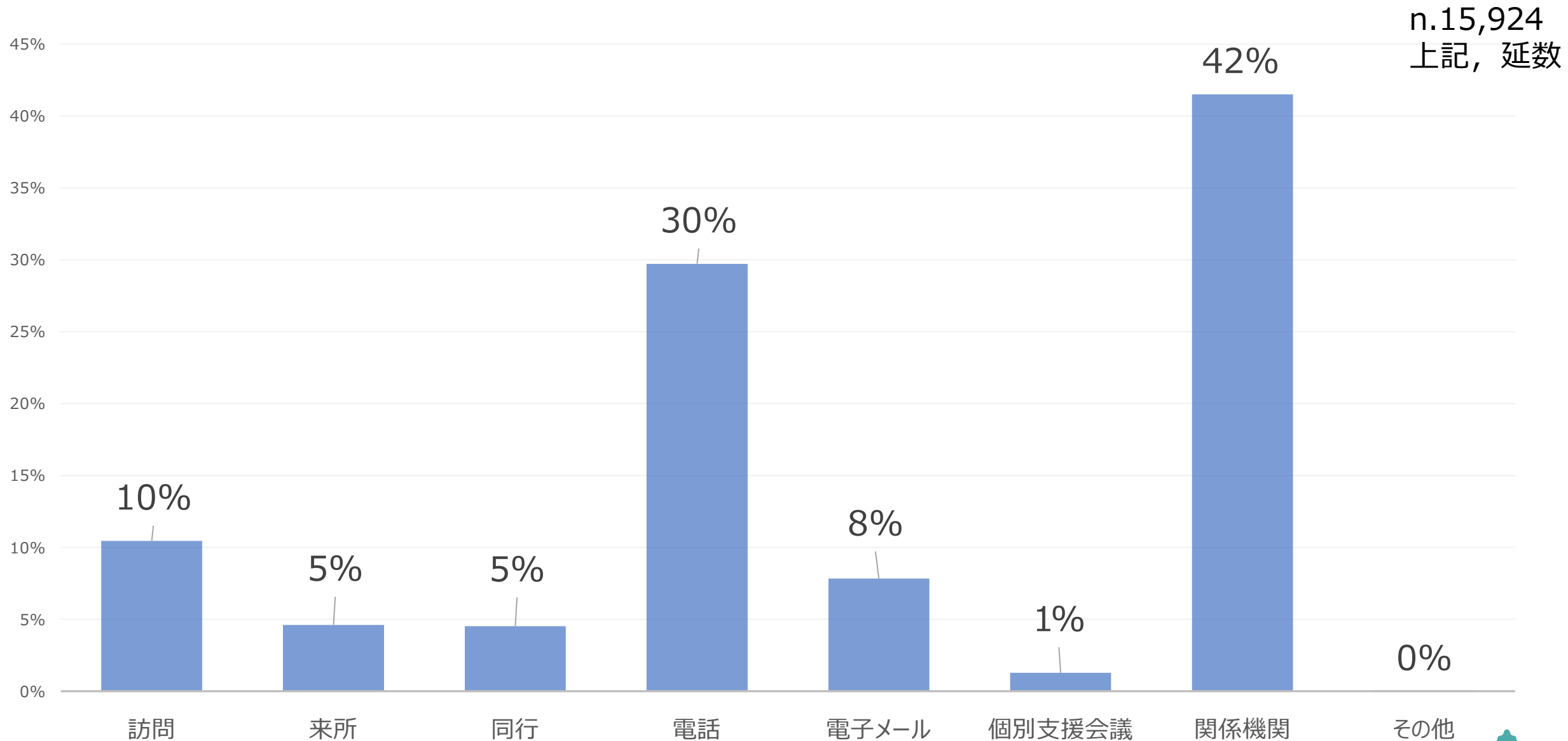
2.相談支援を利用した障害者等の数値



3. 相談支援を利用した障害児・者の比較

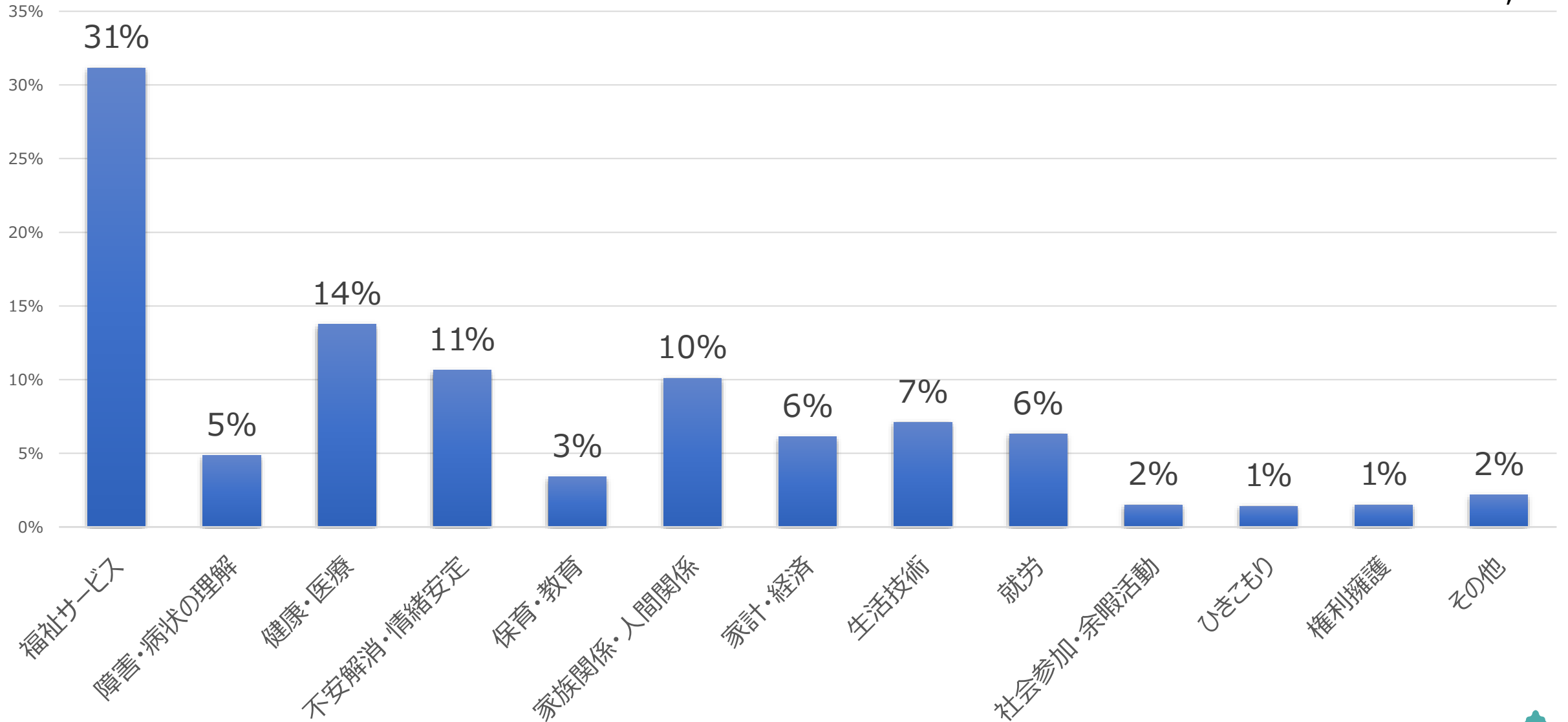


4.相談支援方法



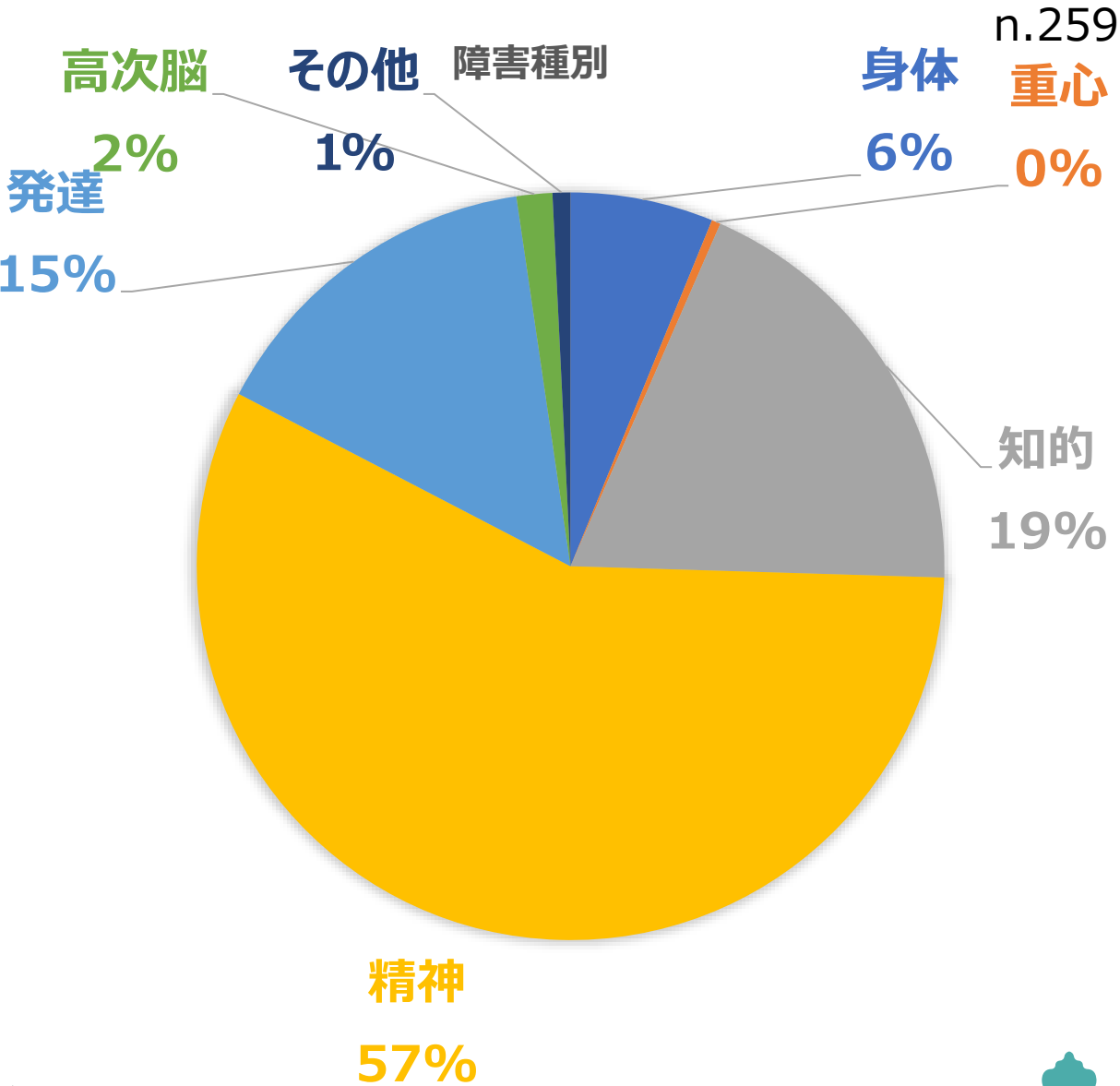
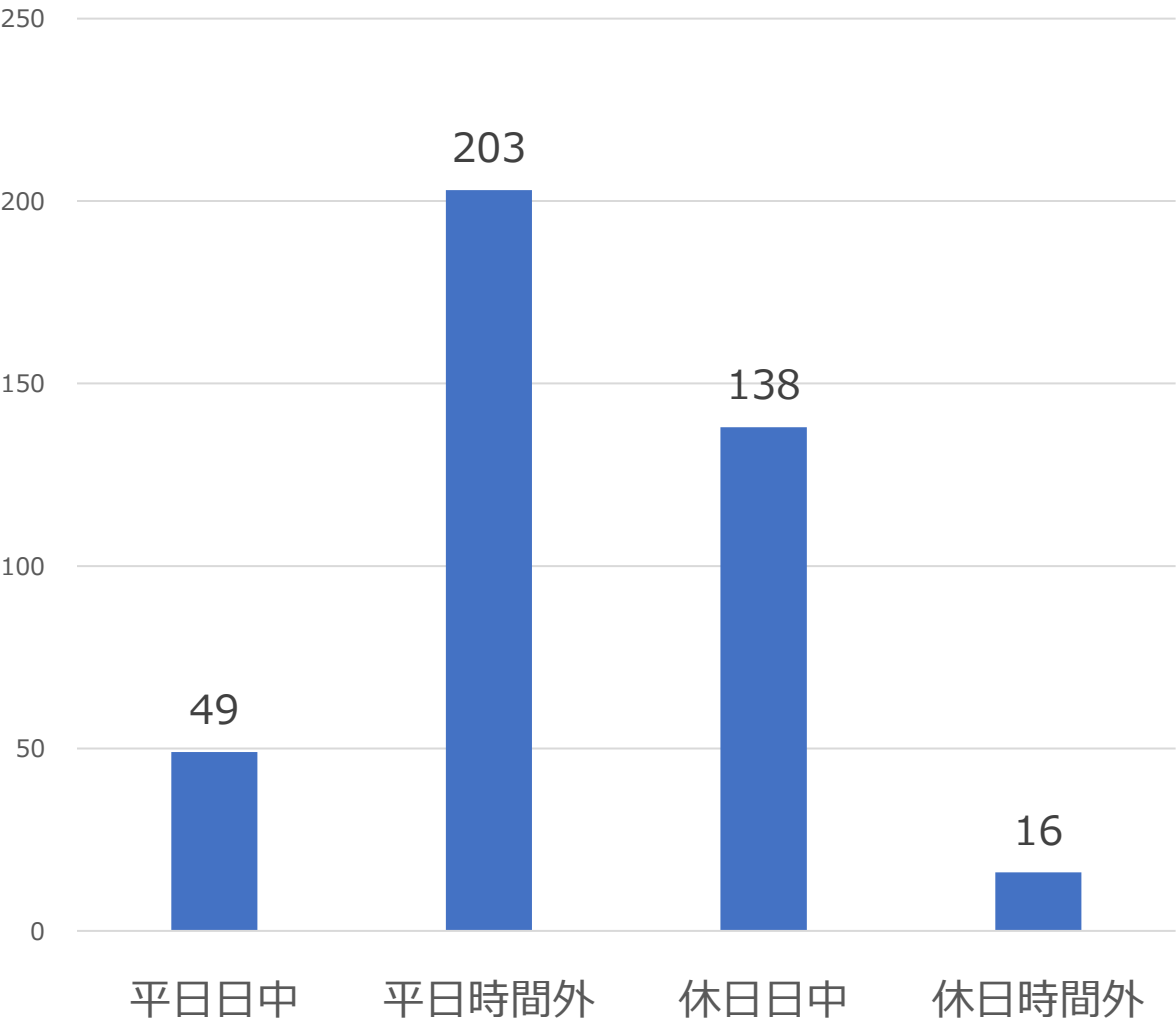
5.相談内容（重複カウント有）

n.29,890



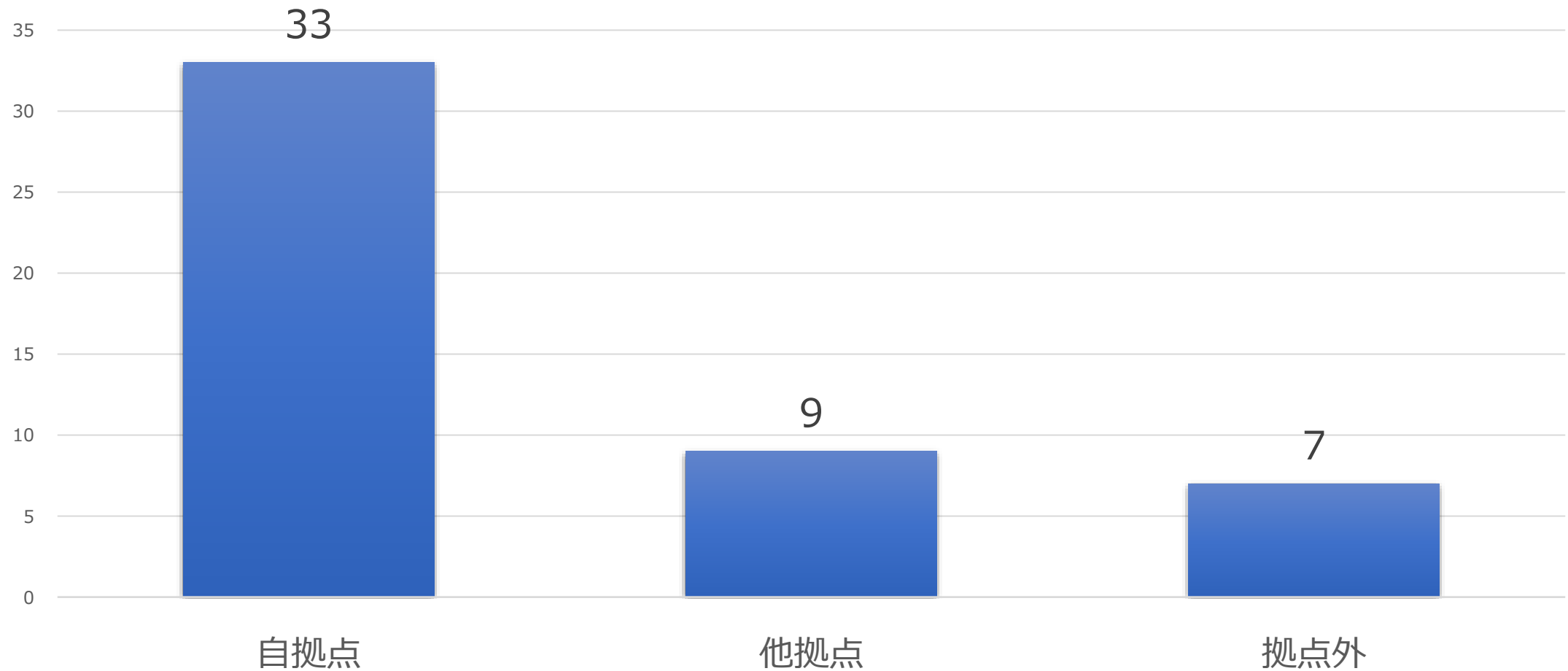
6.緊急相談対応状況（拠点のみ）

対応時間帯 n.406

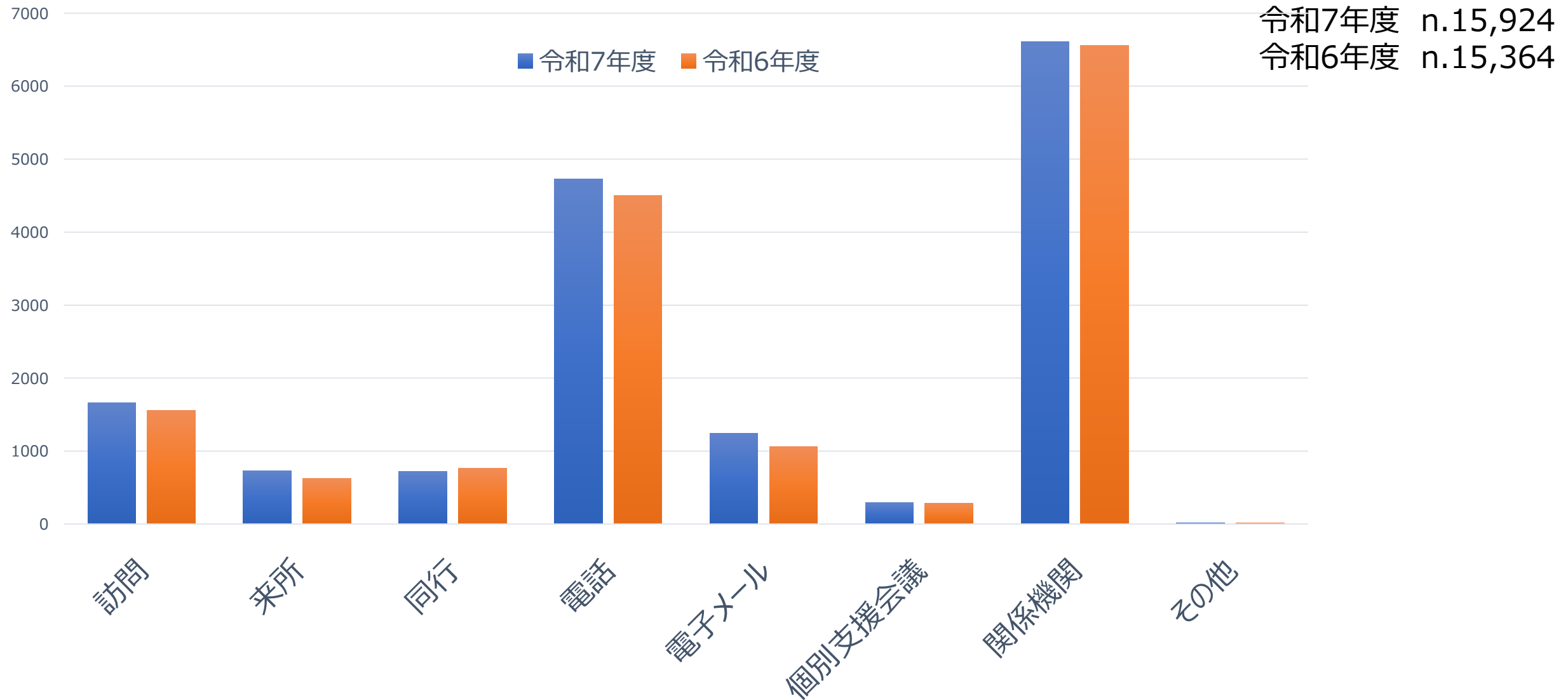


7.緊急時短期利用コーディネート件数（拠点のみ）

n.49

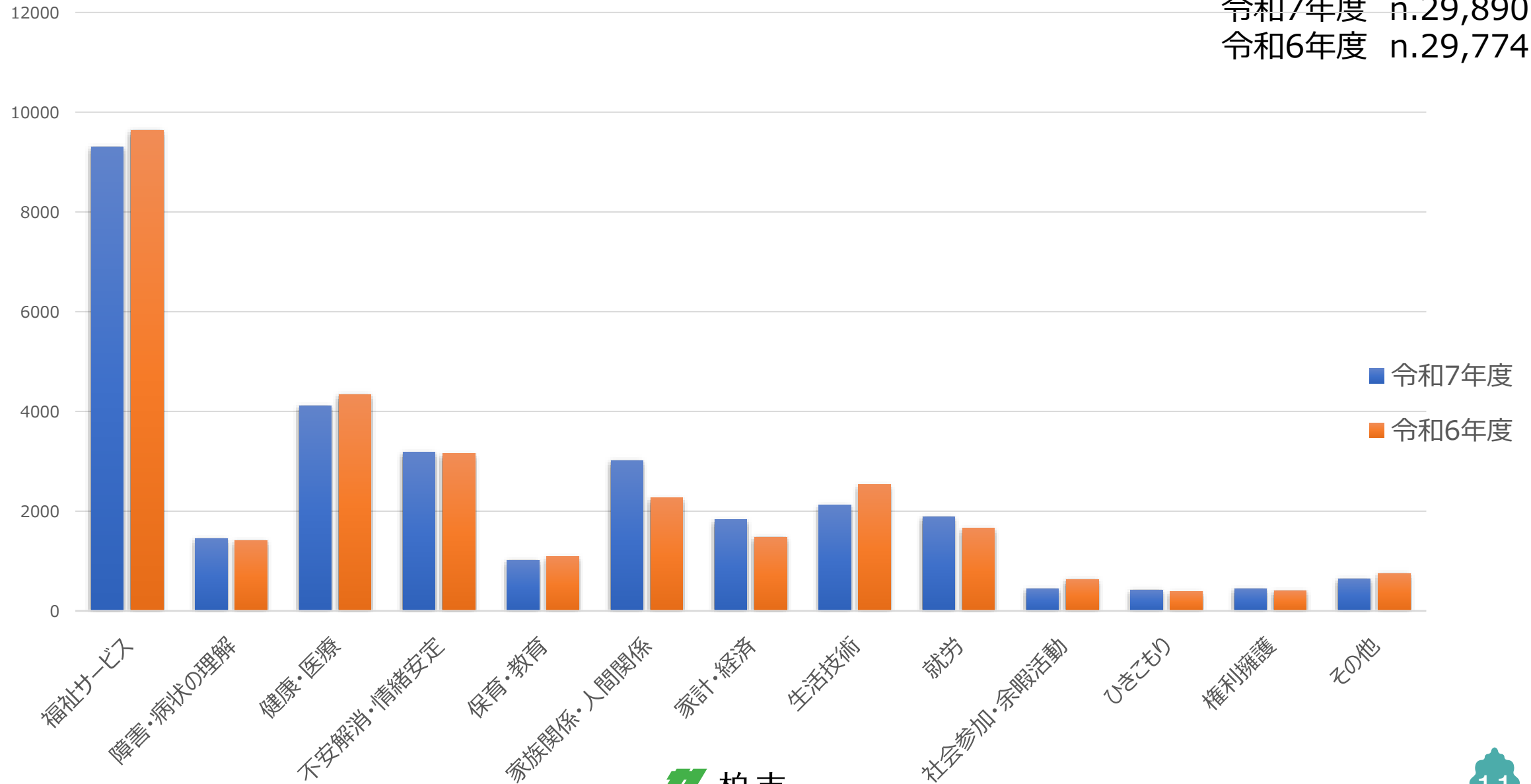


8.支援方法の令和6年度との比較

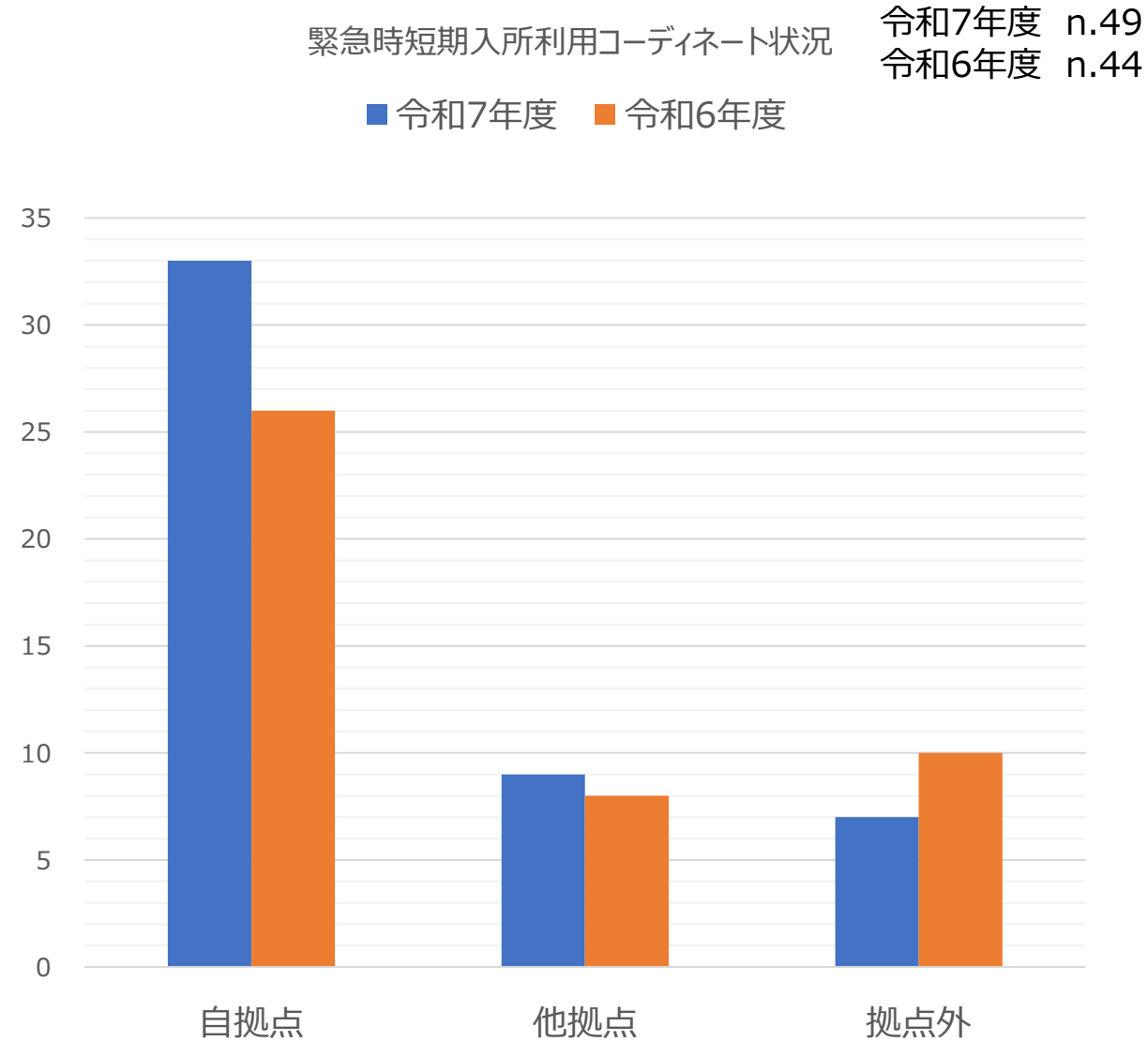
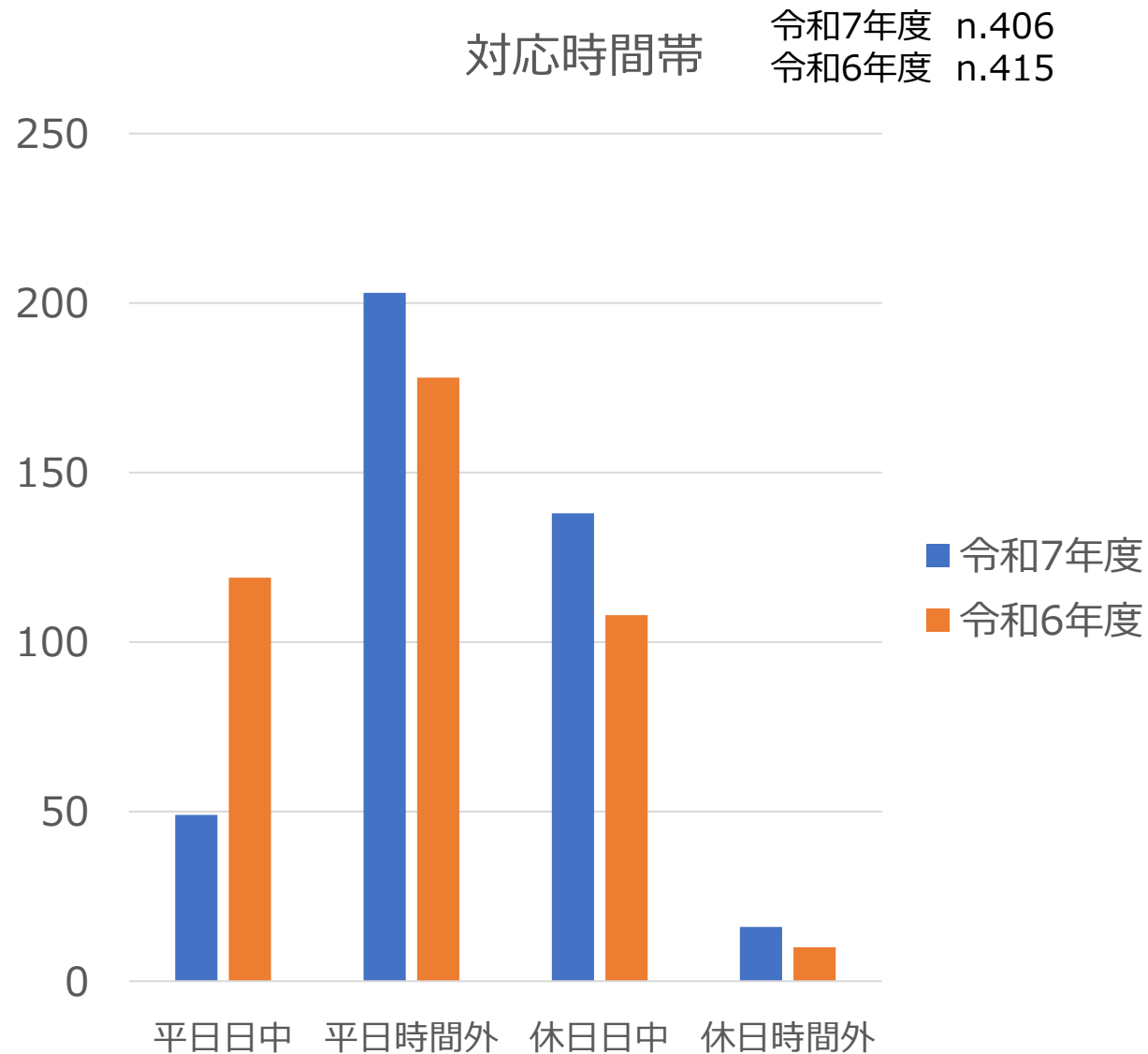


9.相談内容の令和6年度との比較

令和7年度 n.29,890
令和6年度 n.29,774



10.緊急時相談対応状況の令和6年度との比較



○委託相談支援実施報告からのまとめ

- 全体の利用者数は令和6年度から微増（4,017人から4,061人）しており、利用者の85%を大人が、15%を子供が占める構成であった。
- 相談支援の方法は、「関係機関」との調整が42%と最も多く、次いで「電話」が30%であった。訪問（10%）や来所（5%）といった直接的な対面支援よりも、関係各所との連携や電話を通じた対応に多くの労力が割かれていることがわかる。
- 緊急時の相談対応の時間帯について、平日時間外が203件と最も多く、次いで休日日中が138件であった。通常の開所時間外に緊急相談のニーズが集中していることが伺える。
- 緊急相談の対象者は精神に障害をお持ちの方が約6割（57%）を占めており、大人の利用者全体における精神障害の割合の高さ（64%）と連動して、危機介入の必要性が高い傾向にあると考えられる。
- 令和6年度と令和7年度の比較において、相談内容や支援方法、緊急時対応の件数割合などに大きな変動は見られず、地域における相談支援のニーズや手法は年間を通して安定した傾向にあることが確認できた。

拠点による、地域の人材育成及び地域資源ネットワーク強化への取組

		R 6 年度	R 7 年度
地区別研修	地域生活支援拠点あおば	6 回	1 3 回
	地域生活支援拠点たんぽぽ	6 回	6 回
	地域生活支援拠点しょうなん	1 5 回	1 5 回
	地域生活支援拠点ぶるーむの風	0 回	2 回

拠点活動内容（地区別研修及び独自の活動）

地域生活支援拠点	状況
地域生活支援拠点あおば	・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施 ・公開事例検討会（学齢期のデイサービス年間3回、グループホーム年間2回）を実施 ・医療、成年後見等多岐にわたるテーマで発達障害サポーター研修会を年間6回開催 ・千葉県相談支援従事者研修インターバル受け入れ対応
地域生活支援拠点たんぽぽ	・複数の関係機関との研修会の開催 ・精神にも担当した地域包括ケアシステム構築推進事業の運営 ・ピアサポート交流会を定期開催
地域生活支援拠点しょうなん	・担当地域の相談支援事業所へのグループスーパービジョンの実施（毎月） ・他市でのグループスーパービジョンの講義、演習を実施（3日間）
地域生活支援拠点ぶるーむの風	・相談支援専門員と民生委員の協働を目的とした地区別研修会の実施 ・障害児等医療的ケア支援連絡会の運営 ・風らっとルーム：自助グループの開催等